

保安林(保安施設地区)内作業許可申請書

年 月 日

地域振興局長 様

申請者
住所
氏名 [法人又は公共団体にあつては、
名称及び代表者の氏名]

次の森林(土地)において次のように立竹を伐採(立木を損傷、家畜を放牧、土石又は樹根を採掘、開墾、土地の形質を変更)したいので、許可されたく、森林法第34条第2項(第44条において準用する同法第34条第2項)の規定により、その許可を申請します。

森林(土地)の所在場所		市 郡	町 村	大字	字	地番
保安林(保安施設地区)の指定の目的						
行為の方法						
期間	始期					
	終期					
備考						

注意事項

- 1 申請書は、行為を行うべき箇所ごとに作成すること。
- 2 行為の方法欄には、次の事項を記載すること。
 - (1) 立竹の伐採にあつては、伐採面積、伐採する立竹の年齢及び束数並びに伐採跡地の取扱い
 - (2) 立木の損傷にあつては、損傷の目的、損傷する立木の樹種、年齢、本数及び面積並びに損傷後の取扱い
 - (3) 家畜の放牧にあつては、放牧面積、家畜の種類及び頭数並びに管理方法
 - (4) 下草、落葉又は落枝の採取にあつては、採取物の種類及び数量並びに採取方法
 - (5) 土石又は樹根の採掘にあつては、採掘の目的、種類(土石の採掘の場合に限る。)面積、方法及び数量、採掘設備、土地の形質の変更の状況並びに採掘後の取扱い
 - (6) 開墾にあつては、開墾の目的、面積及び方法、土地の形質の変更の状況並びに開墾地に係る使用目的達成後の取扱い
 - (7) 土石及び樹根の採掘並びに開墾以外の土地の形質を変更する行為にあつては、変更の目的行為の種類、内容及び面積、土地の形質の変更の状況、施行設備並びに行為地に係る使用目的の達成後の取扱い
- 3 面積を記載する場合は、実測又は見込により、ヘクタールを単位とし、小数第4位まで記載すること。
- 4 添付する書類は、要領別表2に掲げるものであること。

作業内容書 (記載例)

区分	作業内容
行為の内容	間伐材搬出作業路の開設、作業土場及び集材
森林所有者の住所・氏名	〇〇〇郡〇〇町大字〇〇100番地 〇〇〇〇
行為の規模	作業路 L=1,500m、W=3.0m
行為の方法	ブルドーザによる集材
面積の算出根拠	作業行為面積 18.2 ha (内 訳) 1 作業路面積 0.63ha (平均作業路敷幅 4.2m×1500m=6,300m ²) 2 作業土場 0.10ha (50m×20m=1,000m ²) 3 集材作業面積 17.47ha
施工中及び施工後の保全措置	1 作業終了後、必要な箇所に水切工を設置し、路面流水による土砂の流出や路体の破壊などを防止する。 2 木杭又は伐根を利用した土留丸太柵工を適切に施工し、路体を確保する。 3 沢横断部には丸太を敷き並べ、通水断面を確保する。 4 掘削法面の高さが2.5m以上の箇所へは、種子吹付けによる緑化を図り、法面の崩壊を防止する。